

平成28年度行政評価シート【個表】

平成 28 年 6 月 28 日

評価対象事業	評価者	市民健康課長	石黒 知美
健福-35 保健衛生運営事業	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務	主管課	市民健康課
		関連課	
総合計画上の位置付け	分野	健康福祉	施策の方針
			市民の健康と安心づくりの推進

1 事業の目的

対象	市民等
意図	市民一人ひとりの保健衛生知識の啓発を図るため。
効果	市民の健康衛生水準を向上

2 平成27年度に実施した事業の概要

市民の健康寿命の延伸を図るため、市民の健康づくりの指針・行動計画となる健康づくり計画を策定した。 日本赤十字血液センターが街頭等で実施する献血事業に対して、献血者への謝礼を配布した。あわせてホームページや広報かまぐらの活用、市内事業所や町内会、ライオンズクラブ等との連携を通じて献血への参加を呼びかけた。 命の大切さ、自分や周りの人の命に関する意識を高めた。保健事業及び健康づくり事業等の中で、自殺に関する基本的な知識の周知啓発を図った。自殺につながる様々な問題の相談窓口の周知を図った。
--

3 事業費等基礎データ

人口等のデータ	データ区分	26年度決算	27年度決算	データ区分	28年度当初予算	備 考
	人 口	177,464人	177,243人	人 口	176,869人	・各年3月31日 (住民基本台帳)
	世 帯 数	80,368世帯	80,676世帯	世 帯 数	80,928世帯	
	事業の対象者数			事業の対象者数		
運営資源状況	決算値(千円)	4,323	5,755	当初予算(千円)	3,861	
	国県支出金	336	128	国県支出金	68	
	地方債	0	0	地方債	0	
	その他	0	0	その他	100	
	一般財源	3,987	5,627	一般財源	3,693	
	人員配置数	0.8	0.7	人員配置数	1.1	
事業経費運営	人件費(千円)	6,058	5,644	人件費(千円)	8,667	
	総事業費(千円)	10,381	11,399	総事業費(千円)	12,528	
	市民1人当りの経費(円)	58	64	市民1人当りの経費(円)	71	
	対象者1人当りの経費(円)			対象者1人当りの経費(円)		

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	2. 廃止・休止による影響は小さいがある
	今後も市が実施すべき事業か	9. 実施が義務付けられており(法定受託事務等)、今後も市が実施する必要がある
有 効 性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	△.負担未導入
		△-1. 今は受益者負担を求めているが、今後、負担の導入を検討する必要がある
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	○.協働実施済
		協働実施済の場合のパートナー 鎌倉市保健福祉事務所、逗子市、葉山町、鎌倉市社会福祉協議会、逗子市社会福祉協議会、葉山町社会福祉協議会、地域生活サポートセンターとらいつ

事業内容の方向性	☐ a:事業内容を見直す ➡ ☒ b:事業内容は現状通りとする ☐ c:事業を休止又は廃止する ☐ d:他事業と統合し、本事業は廃止する ➡	見直しの種類	☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ その他	見直しの内容	
予算規模の方向性	☐ A:予算規模を拡大する ☐ B:予算規模は現状維持とする ☒ C:予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	(健康増進計画策定)健康増進計画は平成27年度末に策定され、平成28年度以降は計画策定に関する委託業務は縮小し、事業実施について展開していく。 (地域自殺対策)予算規模は現状維持とし、関係機関、他市と連携して事業を展開していく。 自殺対策基本法の改正に伴い、自殺対策計画策定が義務付けられた。都道府県や他市町の動向を踏まえて、検討していく。		
総評(評価に対する考え方、根拠等)	(健康増進計画)健康づくり計画を推進するための各種保健事業を展開していく。				

平成27年度事業実施にあたっての課題 (前年度未解決の事項を含む)	(健康増進計画策定) 調査結果を有効活用し、健康増進計画を策定する。 (地域自殺対策) きめ細かな普及啓発を継続していきたい。 (不適切な事務処理) 医療機関等への委託事業において、請求書に係る不適切な事務処理を行っていた。		
課題解決のために行った平成27年度の取組	(健康づくり計画) 調査結果を有効活用して、健康づくり計画を策定した。 (地域自殺対策) これまでにゲートキーパー養成講座を受講した方を対象としたフォローアップ講座や、就労している人も受講できるよう夜間帯にも開催した。 (不適切な事務処理) 不適切な事務処理に関する調査委員会の調査を受け、全委託事業について原因究明と改善策の検討を行った。	☐ 解決 ☒ 一部解決 ☐ 未解決	
未解決の課題、新たな課題とその理由	(健康づくり計画) 計画推進にあたり、庁内連携課及び関連団体等と連携し、事業を実施していく。 (地域自殺対策) きめ細かな普及啓発を継続していきたい。		

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									
比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									
比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									
比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									
当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方									

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	ゲートキーパー養成数					単位	人	指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30		H31		
精神的な健康を保つために自身のセルフケア、身近な人へのサポート等の知識の普及啓発が必要なため。	目標値	150	200	200	200	200		200		
	実績値	462	126							
	達成率	308.0%	63.0%							
指標の内容	健康づくり計画の推進に向けた具体的な取り組みの提案					単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30		H31		
健康長寿の延伸に向け、市民一人ひとりが取り組んでもらうため。	目標値	—	—	推進	推進	推進		推進		
	実績値	—	—							
	達成率									
指標の内容						単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30		H31		
	目標値									
	実績値									
	達成率									
当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	(地域自殺対策)ゲートキーパー養成講座受講者実数を増やし、地域での心の健康づくりをすすめる。									

● 事業に関する特記事項

☐ 第3期基本計画前期実施計画重点事業	☐ 19節で予算措置している補助金が含まれる事業
--	---